

災害から命を守る!!

問合先 市民協働課

災害は他人事と思っていないませんか?

市民のみなさんと防災の話をさせていただくと、「泉佐野市は災害の少ないところだから」と聞くことがあります。しかし、本当にそうでしょうか。昭和36年の第二室戸台風では350棟が全壊し50棟が流出するなど大きな被害を受けています。今年4月に発生した熊本地震の震源となった布田川断層帯の地震の発生前確率は30年以内では0.07%と低く、被害を受けたみなさんも、熊本であのような地震が起こるとは考えていなかったでしょう。

この布田川断層帯は西日本を縦断する中央構造線断層帯の延長線上にあります。泉佐野市では、中央構造線断層帯で地震が発生した場合、熊本地震と同じ最大震度7が想定されており、その発生確率は熊本地震よりも大きい30年以内で0.07%～14%と想定されていることから、本市で起こってもおかしくなく、決して他人事ではありません。

自然災害は、数十年から数百年に一度といった周期で繰り返して起こっています。近年は、大きな災害が毎年各地で発生しています。本市でも、近い将来必ず起こるといわれている南海トラフ地震をはじめとする大地震や、大雨による土砂災害や河川氾濫などの災害が想定されます。

災害による被害を少しでも減らすには、行政の努力はもちろんですが、災害時に最終的に自分の身を守るのはあなた自身です。自分や大切な家族を守るため、災害に対する知識や判断力を養い、災害に対する備えを普段から心がけておきましょう。

熊本地震被災地へ職員派遣

熊本地震では、住家被害認定業務等の応援のため、本市職員5人を交替で、5週間現地に派遣しました。写真はその時に撮影したもので、派遣された職員は被害の大きさを実感しました。

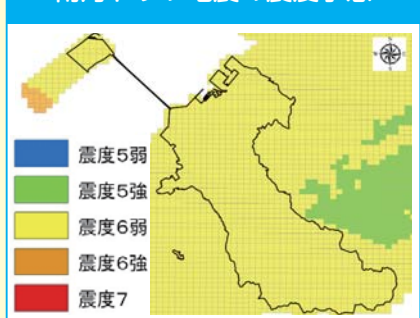
本市では派遣職員の貴重な経験を、今後の防災対策に生かしてまいります。



南海トラフ地震

- 発生確率 70%程度
- 震度 6弱
- 建物被害
 - ・全壊…232棟
 - ・半壊…2,067棟
- 人的被害
 - ・死者…86人(7人)
 - ・負傷者…700人(227人)
- ※()内の人数は津波に対する迅速な避難を行った場合
- 最大津波水位 3.8m
- 津波最短到達時間 81分

南海トラフ地震の震度予想

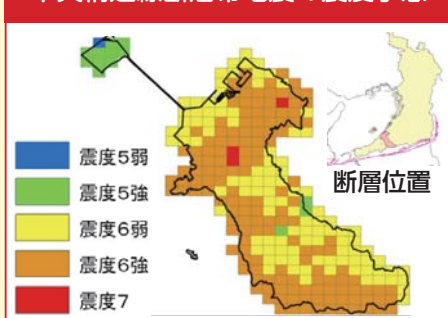


出典：南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会大阪府被害判定 (H25)

中央構造線断層帯地震

- 発生確率 30年以内0.07%～14%
- 震度 5強～7
- 建物被害
 - ・全壊…6,535棟
 - ・半壊…6,423棟
- 人的被害
 - ・死者…92人
 - ・負傷者…1,272人

中央構造線断層帯地震の震度予想



出典：大阪府自然災害総合防災対策(地震被害想定)報告書 (H19)

●地震被害想定

本市で想定されている地震の規模と被害は？

- 住んでいるまちの危険な場所を知ろう！
津波・河川氾濫の浸水想定区域や、土砂災害の警戒区域などは、市が発行する「もしもの時の防災ガイド(ハザードマップ)」で確認しましょう。
- 詳細な内容が知りたい場合は、市民協働課へ問い合わせてください。

泉佐野市の災害の被害想定や危険箇所を知る!!



災害が発生またはその危険性が高まったときは命を守る行動が必要です



津波

～津波だ！逃げろ！～

南海トラフ地震では約80分で津波が到達し、沿岸部では堤防を越え浸水する想定となっています。

- 下記の場合は沿岸部から離れ南海本線を目標に逃げましょう。
- 大津波警報や津波警報が発令されたとき
- 強い揺れや長時間の揺れを感じたとき
- 率先して避難しましょう。その姿を見て、ほかの人も避難し命を救うことに繋がります。

地震

～地震だ！落下物に注意！～

震度6弱以上の揺れの際は、立っていることも困難になります。まずは身を守る行動をとりましょう。

- まずは自分と家族の身を守る
- 揺れが収まったら火の始末
- 近所の人への声掛け
- 余震に注意し、安全確保や避難
- 日頃から家の耐震化や家具の固定をする



洪水

～川が溢れる前に避難～

市内には見出川・佐野川・樫井川があります。これらの川の水位やリアルタイムの映像がインターネットで確認できます。川ごとに設定された「氾濫危険水位」に達した場合、市から避難勧告を発令します。



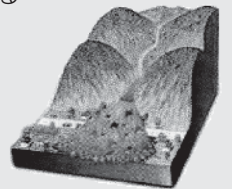
- テレビやラジオの気象情報に注意しましょう。
- 氾濫の危険を感じたら早めに避難
- 家の外が既に危険な状態なら、2階へ避難するなど、屋内で安全確保を行うことも避難行動のひとつです。

土砂災害

～前兆をいち早く察知し避難～

雨が降り続き地盤が緩むと土砂災害が発生します。土砂災害警戒情報が発表されると、市から土砂災害警戒区域内に避難勧告を発令します。

- 土石流の前兆
- 川がにごり、流木が混ざり始める
- 山なりがする
- がけ崩れの前兆
- がけから小石がパラパラ落ちる
- がけから水が噴き出してくる



◆避難情報のレベル

避難情報が発令されたら、下の表を目安に速やかに行動しましょう。

避難情報	避難準備情報	避難勧告	避難指示
発令の状況	人的被害の発生可能性が高まった状況	人的被害の可能性が明らかに高まった状況	人的被害の発生する危険性が非常に高い状況（またはすでに発生）
市民の行動	避難準備時間を要する人は避難開始	避難所等へ避難開始	直ちに避難完了

泉佐野市地域防災計画を見直しました

泉佐野市地域防災計画とは

災害対策基本法第42条に基づき、市民の生命、身体および財産を保護するため、泉佐野市防災会議が策定する計画です。本計画には災害予防、災害応急対策および災害復旧復興に関し、市および防災関係機関の処理すべき事務または業務の大綱などを示しています。

修正のポイント

今回、地域防災計画の見直しにあたっては、東日本大震災や近年の災害の教訓を生かすとともに、計画を補完する各種計画やマニュアルも併せて検討することにより、実効性のある防災対策となるよう修正を行いました。

●市役所機能確保

大規模災害で市役所機能が低下する中でも、災害対応を速やかに行い、最低限必要な行政サービスを維持するため、市庁舎や職員が被災することを前提に、業務継続計画（BCP）を策定しました。

●災害対策本部体制の充実

災害時には全職員が一丸となって災害対応できるよう、体制や各部署の役割分担を見直しました。

●避難情報の発令

避難勧告などの発令の遅れによる犠牲者を出さないため、適正な時期に避難勧告などを行うための判断基準・伝達マニュアルを策定しました。

●避難体制の構築

津波や河川氾濫に対する迅速かつ適切な避難行動を促すため、地域の自主防災組織とともにワークショップを開催し、地域版ハザードマップの作成を行うとともに、津波・河川氾濫に対する避難計画の策定を行いました。

●避難所

地域の防災拠点となる避難所について、災害時に駆けつける職員の指名や、地域住民とともに避難所運営を行うためのマニュアル策定を行いました。

※計画は市ホームページの「防災情報」でも閲覧できます。

自分たちのまちは自分たちで守る!!

地域の自主防災活動

地域の町会（自治会）を中心とした自主防災組織が平成28年7月現在82町会中、66町会で結成され、防災活動に取り組んでいただいています。地域で行われる草の根防災訓練の実績としては、平成27年度は44回開催され3,645人が参加しています。（市申込分のみ）

写真は昨年11月に笠松町で447人が参加して行われた避難訓練の様子です。



泉佐野市消防団

消防団は、それぞれの仕事を持ちながら、地域に密着して活躍する消防組織です。泉佐野市消防団には大土・日根野・上之郷・長滝・南中分団があり、現在男性消防団員130人と、女性消防団員19人の合わせて149人の団員が活動しています。日ごろは訓練で技術を磨き、地域で火災があれば、いち早く現場に駆けつけ消火活動を行うとともに、災害時の警戒や行方不明者の搜索など、地域の安全を守るために活躍しています。

写真は、平成28年2月に行われた文化財防火消防訓練で消防団が放水を行っている様子です。



災害時に役立つポータルサイトと防災情報メール

●おおさか防災ネット（ポータルサイト）(<http://www.osaka-bousai.net/>)

おおさか防災ネット

検索

府内に発令される注意報や警報情報、地震、津波情報、ライフライン情報、避難勧告・指示などの情報を提供しています。そのほか、川のリアルタイム画像や水位、土砂災害の危険度なども確認できます。

●防災情報メール

携帯電話でメールアドレスを登録すると防災情報が配信されます。「touroku@osaka-bousai.net」へ空メールを送信してください。

※QRコードもご利用いただけます。携帯電話で、ドメイン指定受信をしている場合は、あらかじめ上記アドレスを登録してください。URL付きメール受信拒否や宛名設定など、各種の受信解除もしてください。登録料無料、通信料は利用者負担となります。



QRコード

●泉佐野市防災情報ツイッター

ツイッターでも防災情報を発信しています。

アカウント名：泉佐野市防災情報（公式）

アカウントID：@Izumisano_Bosai



11月6日(日) 大防災訓練を行います！

～みんなで避難ルートや避難場所を確認しましょう～

市民のみなさんと一緒に災害に備えるため毎年11月の第1日曜日を「市民防災の日」としました。

今年は、初めての市民防災の日に次のとおり「大防災訓練」を行います。

※市内の防災行政無線からサイレンが鳴ります。

開催日 11月6日(日)

内容

●午前の部…避難訓練（場所：市内全域）

市内の全避難所を開設し、地域の自主防災組織と連携した避難訓練などを行います。

●午後の部…避難所運営訓練（場所：長南小学校）

東日本大震災で避難所運営を行った講師を招いて、避難所運営訓練を行います。



大阪880万訓練

Osaka 8.8million drill

9月5日(月) 午前11時実施!!

～携帯電話の訓練緊急速報が一齐に鳴ります！～

この訓練を「あなたの命を守る普段の備え」について考えるきっかけにしてください。

※市役所では、この訓練と連携し、災害対策本部訓練や避難所開設訓練などを行います。

訓練内容

●午前11時…地震発生

●午前11時3分頃…大津波警報発表（訓練用エリアメール・緊急速報メールが届きます）

●午前11時5分頃…泉佐野市から2回目の発信

問合先 府民お問合せセンター（☎06-6910-8001）

※訓練について詳しくはホームページ（http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig_top/）をご覧ください。